

## 表面強化

引っかきキズがつきにくい、強度に優れた壁紙です。

### ■表面強化性能試験結果

壁紙の種類	表面強化性能
表面強化壁紙	4～5級
一般ビニル壁紙	1～3級

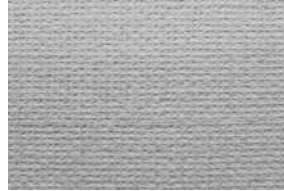
#### 《試験方法》

壁紙工業会制定「表面強化壁紙性能規定」に準拠。学振型摩擦試験機に指定のステンレス製ツメを取り付け、200gの荷重で壁紙表面を5往復し、表面の傷つき具合を評価する。

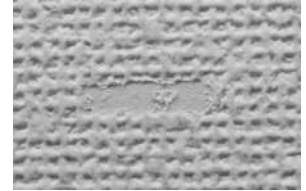
#### 《判定基準》

- ◆4級以上を「表面強化」とする。
- 5級：一見視で特に変化が見られない
- 4級：多少表面傷が見られるが、比較的大きな表面層の破れ等は見られない
- 3級：表面層の破れが明確に見える
- 2級：表面が破けて紙等の裏打材が明らかに見える(長さ1cm未満)
- 1級：表面が破けて紙等の裏打材が明らかに見える(長さ1cm以上)

《表面強化壁紙》



《一般ビニル壁紙》



### ■使用上のご注意

- ・キズに強い特長がありますが、引っかきなどのキズによる破損が発生しないことを保証するものではありません。また、破損が生じない場合でも、引っかきなどにより表面にツヤ差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

## 抗菌

●壁紙の表面に付着した細菌の繁殖を抑制します。

### ■抗菌性能試験結果

抗菌壁紙は、試験後の生菌数が「0.63未満」の性能を有しています。

試験菌	試験開始時の生菌数(個/cm <sup>2</sup> )	試験後の生菌数(個/cm <sup>2</sup> )
大腸菌	$6.2 \times 10^3 \sim 2.5 \times 10^4$	0.63未満
黄色ブドウ球菌	$6.2 \times 10^3 \sim 2.5 \times 10^4$	0.63未満

#### 《試験方法》

壁紙工業会制定「抗菌壁紙性能規定」に準拠。

壁紙の表面に試験菌液を滴下し、温度35±1℃、湿度90%以上で24±1時間培養。その後の生菌数を測定。

### ■使用上のご注意

- ・抗菌性の壁紙は、これを使用することによって掃除の必要がなくなるというものではありません。より清潔に保つための手段とお考えください。
- ・抗菌性壁紙の抗菌効果は、壁紙に付着した細菌の増殖を抑制するものであり、感染を直接阻止するものではありません。

## 防かび

●かびの発生と繁殖を抑制します。

### ■防かび性能試験結果

防かび壁紙は、下表の「0」の性能を有しています。

菌系の発育	結果の表示
肉眼及び顕微鏡下でかびの発育は認められない	0
肉眼ではかびの発育が認められないが、顕微鏡下では明らかに確認できる	1
肉眼でかびの発育が認められ、発育部分の面積は試料の全面積の25%未満	2
肉眼でかびの発育が認められ、発育部分の面積は試料の全面積の25%以上～50%未満	3
菌系はよく発育し、発育部分の面積は試料の全面積の50%以上	4
菌系の発育は激しく、試料全面を覆っている	5

#### 《試験方法》

壁紙工業会制定「防かび壁紙性能規定」に準拠。かびを壁紙表面に付着させ、4週間培養。その後壁紙表面に生じたかびの発育状況を肉眼と顕微鏡で確認し判断する。

### ■使用上のご注意

- ・防かび壁紙だけでかびの発生を防ぐことは不可能です。かびは住宅の構造や生活環境に大きく影響を受けます。室内の湿度調整のため、常に換気を心がけてください。湿気を低く抑えることがかびを発生させない一番有効な手段です。
- ・なるべく発生させないような対策を講じる必要がありますが、すでに発生しているところに施工する場合は、完全に除菌、殺菌してから施工してください。中途半端な除菌では簡単にかびの再発生をゆるす結果となります。
- ・特に防かび性が要求される場所には、防かび性接着剤の使用が効果的です。

※データは実測値であり、保証値ではありません。